

令和 7 年度 入 学 試 験 問 題

小 論 文

(大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜)

教育学部学校教育課程

発達支援教育コース

特別支援教育専攻

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は問題用紙 3 枚、解答用紙 4 枚で構成されています。
3. すべての解答用紙の受験番号欄に受験番号を記入してください。
受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
4. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入してください。
5. 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁及び汚損等がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
6. 試験終了後、解答用紙は回収します。問題冊子は持ち帰ってください。

令和7年度宮崎大学教育学部学校教育課程発達支援教育コース

特別支援教育専攻 学校推薦型選抜(小論文)

問題 課題文を読み、以下の問いに答えなさい。

この部分については、著作権保護の観点から公開しません。

この部分については、著作権保護の観点から公開しません。

この部分については、著作権保護の観点から公開しません。

野口晃菜 (2023) : 合理的配慮は「ずるいわがまま」なのか？インクルージョン研究者野口晃菜さんによる解説、ここ
コスタディ、Vol.18 (https://co-coco.jp/series/study/reasonable_accommodation/) 一部抜粋・改変

問1 下線①をふまえて、障害のある児童生徒もしくはその保護者から、合理的配慮の意思表明があった場合、学校はどのようなプロセスをたどると合意形成ができるかを考えて、250～300字で説明しなさい。

問2 下線②には、合理的配慮は「ずるくもわがままでもない」とあるが、実際には「ずるい」「わがまま」と思う人がいる理由について、あなたの考えを250字～300字で述べなさい。

問3 特別支援学校の児童生徒が、将来大人になって合理的配慮を得ながら、自立した社会生活をおくれるようになるために、学校段階ではどのような指導・支援が必要か、あなたの考えを350字～400字で述べなさい。

問4 あなたが特別支援学校教員になった際、合理的配慮の提供が社会に浸透していくための取組として、どのようなことができるか、あなたの考えを350字～400字で述べなさい。